* 就任記者会見挨拶文

本日は大変お忙しい中、お集まりいただき、誠に有難うございます。

　台東区長の服部征夫でございます。

　この度、先の台東区長選挙におきまして、多くの区民の皆様のご信託を得て、引き続き我が街「台東区」の伸展のために、働かせていただくことになりました。

　昨日、二期目としての初登庁を迎えたところでございますが、改めて、区民の暮らしと地域を、守り支えていく基礎的自治体の長としての使命と、職責の重さを痛感しております。

　それでは、二期目のスタートにあたりまして、今後の区政運営への決意を述べさせていただきます。

私は、昭和五十年、台東区議会議員に初当選して以来、区議会、都議会、そして、区長と、地方議会一筋に、我が街「台東区」の伸展のために働いてまいりました。

前任期中には、「躍進台東！新しい台東区」の実現に向けて、五つの考え方を柱に、産業施策をはじめ、防災・減災対策の充実、安全安心なまちづくり、高齢者や子育て世帯への支援、花の心プロジェクトの推進など、様々な施策を、スピード感をもって、着実に展開してまいりました。

　しかし、この間にも、待機児童や少子高齢化の進行、未曽有の自然災害の脅威など、本区を取り巻く環境は日々変化し、未だ対応すべき課題は山積しています。

　そのような中、多様化・複雑化する行政課題にきめ細かに対応し、本区が安全安心で、活力ある都市として更なる成長と発展を遂げていくため、昨年十月、区政運営の最高指針である新たな基本構想を策定しました。

二期目となるこれからの四年間は、基本構想で示した将来像「世界に輝く　ひと　まち　たいとう」の実現に向けて、しっかりとした道筋を付ける、極めて重要な期間となります。私は、区民の皆様からの負託にお応えするとともに、その将来像の実現に向けた施策を着実に進めるため、公約で示した、五つの柱を基本に、取り組みを進めてまいります。

第一に、「あらゆる世代が生涯にわたって成長し輝くまち」を実現します。

　その実現に向けて、子育て環境の更なる充実、若者の社会的自立の支援などを進めてまいります。

　具体的には、妊娠期から出産、子育てまで、切れ目なく、心身のケアや育児支援を行うトータルサポート事業の推進、松が谷福祉会館を改築し、こどもと若者の総合支援施設の整備、

待機児童ゼロを目指す施策などに取り組んでまいります。

第二に、「いつまでも健やかに自分らしく暮らせるまち」を実現します。

その実現に向けて、誰もが住み慣れた地域で、安心して暮らし続けられるまちづくりを進めてまいります。

具体的には、特別養護老人ホームの再整備、医療や介護、生活支援などを一体的に提供する、地域包括ケアシステムのさらなる推進、

認知症高齢者の支援強化などに取り組んでまいります。

　第三に、「活力にあふれ多彩な魅力が輝くまち」を実現します。

　本区は、様々な産業が集積する「ものづくりのまち」です。さらに、まちや暮らしの中に多彩な江戸文化が色濃く残る、歴史あふれる「江戸まち　たいとう」です。こうした、他の地域には見られない魅力を地域資源として最大限に活かし、区内産業の活性化、まちの魅力と活力の向上を進めてまいります。

　具体的には、区内産業の販路開拓支援の充実、区に息づく多彩な江戸文化を発信し、区のさらなる発展につなげる「江戸ルネサンス事業」の拡充、商店街活性化支援策の拡充などに取り組んでまいります。

　第四に、「誰もが誇りや憧れを抱く安全安心で快適なまち」を実現します。

　その実現に向けて、誰もが安全安心で快適に過ごすことのできる環境の整備を一層進めてまいります。

　具体的には、区民や地域が自立的に行動するコミュニティ防災の実現、花の心プロジェクトの推進無電柱化の推進などに取り組んでまいります。

　最後に、「家庭の絆を大切に日本の歴史・伝統・文化を尊重する心」を育みます。子育て環境のさらなる充実をはじめ、台東区の歴史・文化を学ぶ機会の提供、郷土資料や芸能文化などの保存・活用を図っていきます。

以上になりますが、まずは、六月に控える区議会定例会での補正予算の中で、私の思いをしっかりと組み込んでいきたいと思います。

　区民の皆様、区議会議員の皆様、関係機関・関係団体の皆様と一層の連携を図り、職員の皆さんとともに、「世界に輝く　ひと　まち　たいとう」の実現に向けて、全身全霊で、区政を担っていく決意であります。

最後になりますが、報道機関の皆様には、今後とも区政情報の発信に、ご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

以上をもって、私の就任の挨拶といたします。有難うございました。